

低コスト森林作業システム研究会

静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター

- 1 日 時：平成20年7月23日（水）～24日（木）
- 2 場 所：静岡県浜松市浜北区根堅 静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター
- 3 出席者：（独）森林総合研究所、岐阜県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、長野県、山梨県、愛知県、静岡県

4 会 議

（1）あいさつ

研究会会長 静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター長 井口裕

（2）議事

ア 研究会の活動について

研究会の期間は平成22年度までの3年間である。基本的に年1回研究会を行い、最終年度に成果報告書を作成する。

「機械施業研究会」で作成した伐出作業に関するデータベースの活用方法の検討を行う。

利用間伐地の残存木の損傷等が問題となっていることから、「列状間伐研究会」との合同開催を検討する。

イ 事例報告等情報交換

- ・ ロングリーチグラップルを用いた作業システムの開発
(森林総合研究所 中澤昌彦)
- ・ 「伐出作業の実態に関するアンケート調査」の集計・分析
(森林総合研究所吉田智佳史)
- ・ 低コスト林業収支プログラムの開発について（栃木県 菅沼好一）
- ・ ヒノキ林における巻き枯らし間伐木の伐倒事例（群馬県 浅野浩之）
- ・ 列状間伐による伐採木の伐出作業事例について（埼玉県 見富篤）
- ・ 長野県内の間伐における伐出作業の実態（長野県 宮崎隆幸）
- ・ 簡易作業路の耐久性について（山梨県 小澤雅之）
- ・ 作業事例と路網調査用ツール（岐阜県 古川邦明）
- ・ 高性能林業機械による効率的な作業システムに関する研究（愛知県 小林寛）

ウ 次年度会長県の選出

平成21年度会長県：岐阜県

（3）現地検討会

ア 場 所：静岡県榛原郡川根本町

イ 内 容：スーパーロングリーチグラップルによる間伐作業システム検討

ウ 検討事項：(7) 作業性・作業能力の検証

(4) 作業路規格の検討

(9) プロセッサと組み合わせた作業システムの検討